**≪目標設定・評価の指針となる項目内容（社会人基礎力）の説明≫**

|  |
| --- |
| **向上させるべき能力（社会人基礎力）** |
| 前に踏み出す力 | ・一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力・指示待ちにならず、一人称で物事を捉え、自ら行動する力 | 主体性 | 物事に進んで取り組む |
| 働きかけ力 | 他人に働きかけ巻き込む |
| 実行力 | 目的を設定し確実に行動する |
| 考え抜く力 | ・疑問を持ち、考え抜く力・自ら課題提起し、解決のためのシナリオを描く、自律的な思考力 | 課題発見力 | 現状を分析し目的や課題を明らかにする |
| 計画力 | 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する |
| 創造力 | 新しい価値を生み出す |
| チームで働く力 | ・多様な人々とともに、目標に向けて協力する力・グループ内の協調性だけに留まらず、多様な人々とのつながりや協働を生み出す力 | 発信力 | 自分の意見を分かりやすく伝える |
| 傾聴力 | 相手の意見を丁寧に聞く |
| 柔軟性 | 意見の違いや相手の立場を理解する |
| 状況把握力 | 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する |
| 規律性 | 社会のルールや人との約束を守る |
| ストレスコントロール力 | ストレス発生源に対応する |

※社会人基礎力

「社会人基礎力」は、職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていく上で必要な基礎的な能力として経済産業省が提唱している概念で、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の3つの能力、及びこれらを構成する12の能力要素が示されています。職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事を行っていく上では、基礎学力や専門知識のみならず、それらを「発揮する」ためのコンピュータのOSに位置する能力・行動力を身に付けていくことが必要です。このような力は、自らの成長目標に向かって意識して取り組んでいき、また周囲からのフィードバックを受けていくことで、インターンシップ、ゼミ活動、正課授業等あらゆる学びの場を通じて成長させることができるものです。